



山形県青年の家より隔月発行でお知らせしています

山青の風

R3.2・3月号

発行日 令和3年4月1日
発行 山形県青年の家
〒994-0032
天童市小路一丁目7-8
TEL 023(654)4545
FAX 023(652)2007

ポストコロナの新しいカタチへ

今年も地域青少年ボランティア活動への協力をお願いいたします！！

地域をつくるリーダーセミナー

■ 地域の未来をつくる人を育む理念のもと、高校生が地域とかかわり地域活動に参画し、郷土に対する誇りと愛着を持つために地域と学校をつなぐ架け橋となるリーダーを育成することをねらいとする「地域をつくるリーダーセミナー」を開催しました。1月30日(土)には山形県青年の家を会場として12校24名の高校生が、31日(日)には庄内農業高校を会場として4校15名の高校生がそれぞれ集まりました。両日とも、尚絅学院大学人文社会学群人文社会学類の松田道雄教授に、オンライン会議ツールを利用してリモート出演していただきました。リモートで講義を行うのは、コロナ禍ならではの試みです。

はじめに、後出しじゃんけんや自己紹介など本所職員によるアイスブレイクを行い、初対面どうしの緊張もほぐれました(庄内会場のみ)。その後、各校の地域活動に関する事例をポスターセッション形式で発表しました。各校作成の地域活動に関するポスターは、いずれも素晴らしい出来栄で、熱心に活動事例を紹介していました。例えば、「学校行事の発信方法」、「地域連携のあり方」、「コロナ禍のボランティアの方策」、「地元の飲食店支援」…などここでは紹介しきれない数の地域活動が各校で行われており、互いに良い刺激を受けていました。

引き続き、松田先生が「地域の人と会話をするための心がけとは？」というテーマで講義を行いました。今回使用したオンライン会議ツールなどを用いた交流方法が今後のトレンドになることや、「会話の力」と「文字の力」の二刀流の大切さなどを学びました。また、商品を外部に売り出す想定のもと、隣同士でおしゃべりをしながら、アイデアを引き出す力を養うワークショップを行い、非認知能力を高め合いました。

午後からは、「地域の人と会話できる力を付けよう！」というテーマで演習を行いました。学校もバラバラな4人が1つのグループになり、お互いの「地域のよさ」と「地域の課題」について、午前のワークショップを活かしておしゃべりをしながら、自分の考えを出し合いました。「地域のよさ」については、「自然が豊富」や「食べ物がおいしい」などが、どのグループでも共通して出されていました。「地域の課題」については、時節柄「歩道の除雪問題」や「公共交通機関の問題」、「若者が集える商店の不足」など、高校生目線で鋭い意見も出ました。その後、グループの中で出た考えを



1つにまとめ、リモートで結んだ松田先生にカメラ越しに考えを発表し、アドバイスをいただきました。振り返りの場面では、「改めて地域を見る“視点”が養われた」という感想が多く寄せられました。

県内各地から集まってくれた高校生の皆さん、そして、2日間ウェブカメラとパソコンの画面を通してご指導くださった松田道雄先生、本当にありがとうございました。



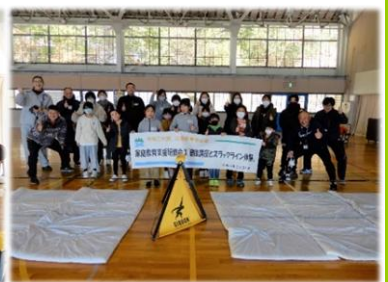
家庭教育支援研修会③「健康講座とスラックライン体験」



■ 2月27日(土)に主催事業である家庭教育支援研修会③「健康講座とスラックライン体験」を開催しました。参加申込が多数あったため、今回も抽選を行ったうえで、18名(天童市・山形市から小学校低学年の親子9組)での開講となりました。なお、感染拡大防止のため、着席間隔に身体的距離を設け、手指消毒の徹底や器具の配置が密にならないようにするなど、対策を講じた上で行いました。

前半は講師の矢萩裕先生(やはぎ接骨院院長・日本スポーツ協会公認アスレチックトレーナー)から、『コーディネーショントレーニング』に関する講義をしていただきました。参加者は、幼少期の運動能力を高めるに当たり、将来必要とされる7つの能力(リズム能力・バランス能力・変換能力・反応能力・連結能力・定位能力・識別能力)を鍛えることの大切さを、海外のトレーニングの動画を見ながら理解を深めました。その後、新聞紙を使って親子で上手に能力を鍛える方法をご指導いただきました。新聞を読んである特定の文字を探したり、新聞紙をボール状に丸めてキャッチボールをしたり…。身近にある新聞紙でこんなにも親子の触れ合いができるとは…。「目から鱗」のミニゲームばかりでした。後半は講師の井上祐先生〔東桜学館高校教諭・(一社)日本スラックライン連盟公認C級インストラクター〕から「スラックライン体験」を指導していただきました。まずは参加者全員でのウォーミングアップに始まり、ライン上での基本技能を体験しました。子どもたちの適応能力は非常に高く、すぐにライン上で立ったり、歩いたりすることができていました。さらに、「フットプラント」や「ドロップニー」などのトリックに挑戦し、体験活動を通しての親子の“絆”を深めていました。

コロナ禍ではありましたが、今年度の研修会を無事に終えることができました。矢萩先生・井上先生、本当にありがとうございました。



あの頃の“青年”は？ 2・3月の利用団体

■ 10年毎に本所の所報を振り返り、当時の様子に思いを馳せてみたいと思います。今回は半世紀前の1970



(昭和45)年の月報青年の家を振り返ります。

① 企業に働く青年のセミナー

県内の選ばれた勤労青年11名が、7月4日から10日までの日程で、県青年の家を出発し、足柄青年の家で神奈川の勤労青年50名程と語り合い、その後、吹田青年の家に宿泊しながら大阪万博を見学して帰県しました。そういえば、2025年の万博も大阪ですね。

② 外国の青年を迎えて

8月7日にソビエト、オーストラリア、シンガポール、ネパール、マレーシア、ベトナムの6名の青年を県青年の家に迎えました。国際色豊かになった館内で2泊3日の研修を行い、心と心の交流を育みました。50年前に6か国の青年を迎え入れていたのは驚きです。

【日帰り利用】

- ・ TGBスポーツ少年団(ソフトテニス)
- ・ AT4(ソフトテニス)
- ・ 天2G(ソフトテニス)
- ・ TKS(ソフトテニス)
- ・ SPT(ソフトテニス)
- ・ KBC(バドミントン)
- ・ 1バド(バドミントン)
- ・ WBC(バドミントン)
- ・ 天童高校バドミントン部
- ・ かしわ男子バスケットボール
- ・ かしわ女子バスケットボール
- ・ ハーツ(バスケボール)
- ・ THクラブ(バスケボール)
- ・ チーム遠藤(バスケボール)
- ・ 天童市ジュニアアスリートクラブ(陸上)
- ・ 山形スマイルガールズ(体パづくり)
- ・ ローターアクト
- ・ 山形県教育庁生涯教育・学習振興課「青少年教育施設長会議」
- ・ 「青少年教育施設研修担当者会議」
- ・ 山形県青少年教育施設協議会 所長会議
- ・ 山形県青年の家 家庭教育支援研修会③「健康講座とスラックライン体験」
- ・ 「山形県地域青少年ボランティア推進会議」



天童市ジュニアアスリートクラブ(3/13)

今後の主催事業



■ 令和3年度もコロナウィルスに向き合いながら、研修事業を継続していきます。

【5月】

- 5/11(火) 県青少年ボランティア推進会議①
- 5/22(土) 体験講座①「地域の環境と文化」
- 申込期間 4/22(木)~5/11(火)

【6月】

- 6/4(金) ボランティア関係者研修会
- 6/16(水) TATプロジェクト①
- 6/19(土) 家庭教育支援研修会①

申込期間 5/11(火)~6/4(金)

詳しくはYYボランティアビューローHPまたは県青年の家HPをご覧ください。



3/18(木)から畳替えを順次行い、きれいな宿泊室で皆さまのご利用をお待ちしています！